



平成31年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年12月7日

上場会社名 日東製網株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3524 URL <http://www.nittoseimo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 宏明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 北方 浩樹

TEL 084-953-1234

四半期報告書提出予定日 平成30年12月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年4月期第2四半期の連結業績(平成30年5月1日～平成30年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年4月期第2四半期	8,729	1.4	216	45.0	287	34.6	157	51.6
30年4月期第2四半期	8,849	3.3	393	45.8	440	25.6	324	5.7

(注) 包括利益 31年4月期第2四半期 67百万円 (79.0%) 30年4月期第2四半期 321百万円 (22.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年4月期第2四半期	60.63	
30年4月期第2四半期	125.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年4月期第2四半期	20,485	5,505	26.2	2,069.26
30年4月期	20,433	5,568	26.6	2,093.55

(参考) 自己資本 31年4月期第2四半期 5,367百万円 30年4月期 5,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年4月期		0.00		50.00	50.00
31年4月期		0.00			
31年4月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年4月期の連結業績予想(平成30年5月1日～平成31年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	5.2	1,150	15.3	1,000	2.0	750	4.4	289.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年4月期2Q	2,605,000 株	30年4月期	2,605,000 株
期末自己株式数	31年4月期2Q	11,264 株	30年4月期	11,220 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年4月期2Q	2,593,770 株	30年4月期2Q	2,593,918 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国・中国の貿易摩擦の動向や欧米の利上げ、中東情勢の混乱等世界情勢のリスクが懸念される中、また、国内においても自然災害が相次ぎ経済に対する不透明感があるものの、政府の経済政策により、国内企業の業績や雇用・所得環境の改善が見られるなど、回復基調で推移しております。

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、猛暑や台風などかつてないほどの異常気象による漁業関連業者への影響や一部水産資源の漁獲量の規制など厳しい状況にあります。世界的な魚食ブームの拡大により、輸出額は年々増加傾向にあるなど、経営環境は概ね安定しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、養殖網や海苔網の受注は増加しましたが、近海旋網や海外旋網漁業の不漁の影響により旋網部門の受注が減少し、前年同期と比べて減少しました。営業利益は、生産の省力化を目指し、無駄な費用の削減に努めておりますが、原材料費の上昇、運送費、貸倒引当金繰入額や人件費等の費用が増加したことにより、前年同期と比べて減少しました。営業外費用で持分法による投資損失を計上しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,729百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は216百万円（前年同期比45.0%減）、経常利益は287百万円（前年同期比34.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は157百万円（前年同期比51.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

〔漁業関連事業〕

売上高は7,460百万円（前年同期比1.1%減）となりました。主な要因は、養殖網や海苔網等の受注は増加しましたが、近海旋網や海外旋網漁業の不漁により旋網部門の受注が減少したことによるものです。利益面は、原材料費の上昇、運送費や人件費等の費用が増加したことにより、セグメント利益は221百万円（前年同期比39.0%減）となりました。

〔陸上関連事業〕

売上高は1,265百万円（前年同期比2.5%減）となりました。主な要因は、獣害防止ネットや遊具ネット等の受注は増加しましたが、施工工事の売上高及び防虫網等の産業用資材の受注が減少したこと等によるものです。利益面は、施工工事の売上高が減少したこと等により、セグメント損失は4百万円（前年同期は31百万円の利益）となりました。

〔その他〕

前期に引き続き機械の部品加工等の受注が低調に推移したこと等により、売上高3百万円（前年同期比21.2%減）となりました。利益面は、売上高が減少したことにより、セグメント損失は0百万円（前年同期は0百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ51百万円増加し、20,485百万円となりました。その主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ117百万円減少し、13,707百万円となりました。これは、売上債権が減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ169百万円増加し、6,777百万円となりました。これは、石巻事業所の有形固定資産が増加したこと等によるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ196百万円減少し、8,840百万円となりました。これは、短期借入金が増加しましたが仕入債務が減少したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ310百万円増加し、6,138百万円となりました。これは、長期借入金が増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ62百万円減少し、5,505百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成30年6月11日に公表いたしました平成31年4月期連結業績予想に変更はありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,107,439	940,831
受取手形及び売掛金	6,867,125	6,674,289
商品及び製品	3,791,609	4,002,112
仕掛品	624,602	608,938
原材料及び貯蔵品	1,237,292	1,118,799
その他	323,510	488,861
貸倒引当金	△126,463	△126,037
流動資産合計	13,825,117	13,707,795
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,372,309	2,356,944
その他(純額)	2,471,625	2,626,574
有形固定資産合計	4,843,934	4,983,519
無形固定資産		
	81,947	73,834
投資その他の資産		
長期営業債権	988,481	1,112,105
繰延税金資産	179,678	218,021
その他	1,254,517	1,212,900
貸倒引当金	△740,258	△822,898
投資その他の資産合計	1,682,418	1,720,129
固定資産合計	6,608,301	6,777,483
繰延資産	93	-
資産合計	20,433,512	20,485,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,778,639	3,201,354
短期借入金	3,729,192	4,303,465
1年内償還予定の社債	100,000	-
賞与引当金	235,927	268,517
未払法人税等	181,719	162,897
その他	1,011,922	904,239
流動負債合計	9,037,400	8,840,474
固定負債		
長期借入金	4,958,686	5,242,554
長期末払金	51,000	36,949
役員退職慰労引当金	187,602	209,592
退職給付に係る負債	483,894	504,595
繰延税金負債	107,103	107,098
その他	39,779	38,152
固定負債合計	5,828,066	6,138,942
負債合計	14,865,466	14,979,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,378,825	1,378,825
資本剰余金	510,292	510,292
利益剰余金	3,613,542	3,641,102
自己株式	△17,544	△17,618
株主資本合計	5,485,115	5,512,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,126	9,987
為替換算調整勘定	△110,044	△155,465
その他の包括利益累計額合計	△54,917	△145,477
非支配株主持分	137,847	138,737
純資産合計	5,568,045	5,505,861
負債純資産合計	20,433,512	20,485,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成30年10月31日)
売上高	8,849,818	8,729,809
売上原価	7,044,581	6,899,550
売上総利益	1,805,237	1,830,258
販売費及び一般管理費	1,411,286	1,613,425
営業利益	393,950	216,833
営業外収益		
受取利息	14,037	10,111
受取配当金	5,290	5,167
持分法による投資利益	33,202	-
保証債務費用戻入額	-	56,381
為替差益	17,486	-
補助金収入	-	39,999
その他	51,946	36,831
営業外収益合計	121,963	148,492
営業外費用		
支払利息	47,860	40,050
手形売却損	8,129	7,297
持分法による投資損失	-	12,732
為替差損	-	5,169
その他	19,796	12,407
営業外費用合計	75,786	77,657
経常利益	440,127	287,668
特別利益		
固定資産売却益	150	-
特別利益合計	150	-
特別損失		
解体撤去費用	2,016	-
固定資産除却損	420	-
投資有価証券評価損	1,000	-
特別損失合計	3,437	-
税金等調整前四半期純利益	436,841	287,668
法人税、住民税及び事業税	94,115	148,131
法人税等調整額	15,654	△18,609
法人税等合計	109,770	129,521
四半期純利益	327,071	158,146
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,197	897
親会社株主に帰属する四半期純利益	324,873	157,248

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成30年10月31日)
四半期純利益	327,071	158,146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,233	△45,146
為替換算調整勘定	△20,210	△39,873
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,385	△5,546
その他の包括利益合計	△5,362	△90,567
四半期包括利益	321,708	67,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319,516	66,688
非支配株主に係る四半期包括利益	2,191	890

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成29年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,546,772	1,298,327	8,845,100	4,718	8,849,818
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,546,772	1,298,327	8,845,100	4,718	8,849,818
セグメント利益又は損失(△)	362,832	31,897	394,730	△779	393,950

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間より、有限会社吉田漁業部の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

これにより、当第2四半期連結累計期間は前連結会計年度の末日に比べ、「漁業関連事業」のセグメント資産が、25,094千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「漁業関連事業」のセグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、有限会社吉田漁業部の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において18,101千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年5月1日至平成30年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,460,837	1,265,254	8,726,091	3,717	8,729,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,460,837	1,265,254	8,726,091	3,717	8,729,809
セグメント利益又は損失(△)	221,457	△4,402	217,055	△222	216,833

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。